



## 2. 商標関係料金（抜粋）

### 【出願料】

	改定前	改定後
商標登録出願	6,000 円 + 区分数×15,000 円	3,400 円 + 区分数×8,600 円

### 【商標設定登録料、更新登録料】

	改定前	改定後
設定登録料	区分数×66,000 円	区分数×37,600 円
設定登録料（分納）	区分数×44,000 円	区分数×21,900 円
更新登録料	区分数×151,000 円	区分数×48,500 円
更新登録料（分納）	区分数×101,000 円	区分数×28,300 円

上記は主なものの抜粋です。詳細は特許庁HPにてご確認ください。

>>>

## 2 . I N T A初参加レポート

>>>

2008年5月17日から5月23日の日程で、ドイツ国ベルリン市においておこなわれたINTA（International Trademark Association）の年次大会（Annual Meeting）に行ってきましたので、ご報告いたします。

### 1 INTAとは

国際商標協会（International Trademark Association）は、INTAと略称されています。ニューヨークに本部があり、その年次大会（Annual Meeting）は商標関係の会合では世界で一番大きな会合とされています。

今年の年次大会（Annual Meeting）は丁度130年という節目だったので、本会場ではたくさんのセッションやワークショップが行われ、さらに各国代理人が開催するレセプションやパーティも毎晩のようにひらかれ、大変にぎやかでした。

そのような国際的会合の場に、私山内章子が初めて参加してきました。



### 2 オープニングセレモニーとレセプション

5月18日（日曜）は、オープニングセレモニーとINTA主催のウエルカムレセプションが行われました。INTAのプレジデントによる挨拶が行われた後、開催国ドイツの弁理士によって、ドイツのヘアケアブランド「Schwarzkopf（シュワルツコフ）」のブランド戦略について講演がおこなわれました。「ヘアケア商品」に特化した商品開発を行い、一般需要者からプロ向けまで幅広い需要者層に対応しているようです。商標権もヨーロッパを中心に世界各国で取得し、綿密なブランド戦略で世界に事業活動を展開しているとのことでした。



レセプション会場

続いておこなわれたウエルカムレセプションでは、インドネシア人、ロシア人、中国人、アラブ系、イギリス人など、世界各国の弁理士、弁護士と知り合うことができました。

特に印象深かったのは、インドネシア人弁理士の In san 氏。彼は高松に住んでいたことがあるらしく、一時期香川大学にも留学していたことがあるそう。流暢な日本語で「さぬきうどん、おいしいよね～。他の県のうどんとは違うね。」とおっしゃるので、今話題の台湾「さぬき」商標問題等の話をすると大変びっくりして熱心に話を聞いてくれました。

### 3 セッションとエキシビジョン

年次大会期間中は、多くのセッションやワークショップが行われ、充実した教育プログラム用意されていました。参加者は興味のあるトピックについて、自由に会場に入ることができ（事前の登録が必要なプログラムもありますが）講演を聴くことができます。

私が参加したのは、EU圏における不使用登録商標と後発登録商標との衝突の問題や、商標と広告（特にパロディ）について、地域名称の表示と発展途上国について、商標とドメインなどインターネット上の問題についてでした。

また、会場にはエキシビジョンのブースがたくさんありました。写真はエキシビジョンの様子です。写真の奥に見えるのは「OHIM（欧州共同体商標意匠庁）」のブース。1件の登録で欧州連合（EU）加盟国全体をカバーすることができる欧州共同体商標（CTM）出願を受理する官庁です。各ブースもかなりたくさんの人でにぎわっていました。



エキシビジョン

さらに年々増加する偽造品とその対策についても活発なセッションがおこなわれ、エキシビジョンホールのある一角には偽造品が集められて展示されていました。



偽造品の展示

写真左は、日本企業の有名なゲームソフトで真正品と偽造品が並んで展示されています。

一番右端に写っているのは、日本でも有名なイギリスの小説「ハリー・ポッター」シリーズに出てくるキャラクター人形の偽造品です。

#### 4 その他

さらに、ベルリン市内滞在中、翻訳や鑑定などされているベルリン在住の日本人弁理士さんと打合せをすることができました。もともと香川出身の方で、今後、地域経済の活発化のために力を貸していただけるとの力強い言葉をいただきました。

その後、この弁理士さんと一緒に、ベルリンの壁を見学しにポツダム広場へ。悲劇の歴史を背負っている「ベルリンの壁」ですが、いまや観光客でにぎわう有名観光スポットの一つとなり、あたりはすっかり平和でのどかな空気が漂っていました。



#### 5 まとめ

以上、簡単ではありますが、2008年INTA第130周年年次大会(Annual Meeting)の報告をさせていただきました。

今後もこのような大会に出席し、世界的な視点で知識を習得し、各国代理人とのネットワーク作りを通して、皆様の知財戦略に活かしていきたいと思っています。

(2008年5月29日 山内章子)